

EFHS (English Frontier High School) G3 校の指定

平成 23 年度府教育委員会は、グローバル社会で活躍できる人材育成と、大阪府立高校で学ぶ生徒の英語コミュニケーション能力のさらなる向上をめざして、「使える英語プロジェクト事業」を立ち上げました。その中の核となる事業として本年度から三カ年間、事業のねらいを实践する学校として府立の 24 校を対象に「English Frontier High School」を指定しました。そして、その学習到達目標を段階的に設定し、住吉高校を最高目標設定の G3 校として指定しました。

国際科学高校である本校は、これまでも日常の英語授業の中で、「読む」「書く」という文法型の機能に加えて「聞く」「話す」力を強化してきました。特に、大阪府の国際関係高校が集まるインターナショナル フェスティバルでのスピーチコンテストでは優勝しているほか、3 日間の英語合宿での英語ディベート大会などは、他校にない取り組みを行っています。

今回 G3 校の指定を受け、このような教育活動をいっそう充実させるとともに、「使える英語」として世界的な指標となっている TOEIC や TOEFL で、ハイスコアを取得できる生徒の育成をめざしています。



【TOEIC と TOEFL の違い】

いずれも公式スコアとして活用できるもの。

TOEIC：英語のコミュニケーション力（日常英語・ビジネス英語）の実力を測定するもの。アジアの企業が採用や昇進に活用。世界で年間 500 万人が受験、日本では 2008 年度は 172 万人が受験し毎年増加している。大学でのクラス分け・単位認定の他、日本の大手企業が社員の英語力判定に利用し、昇進の条件にするなどが話題となる。リスニングとリーディングだけの 990 点満点の試験。

TOEFL：海外の大学・大学院の授業が受けられるか等の判定のために測定。大学でのクラス分けや、単位認定、留学プログラム参加の選抜に利用。世界 180 カ国で年間 110 万人が受験。リスニングとリーディングだけの試験と、スピーキングとライティングが加わるものもある。

【本校での TOEIC と TOEFL の取組みについて】

TOEIC：土曜講座として

- ・土曜日の午前 9 時からのベーシックコースと、午前 11 時からのアドバンスコースで 90 分 10 回の講座として 1 年、2 年生を対象に実施。テキスト代の 5,000 円だけ徴収。
- ・実績：定員 20 名として昨年開始したが応募多数のため、現在は各クラス 30 名で実施。
募集 20 名に対して昨年度応募 55 名、本年度は応募 120 名。1 年生の国際文化科の生徒がたいへん積極的。もちろん、総合科学科の生徒も参加しています。
- ・2011 年度は夏休みをはさんで、前期と後期の 2 回実施。
- ・成績：昨年度講習会後の TOEIC の受験で最高点 710 点。おおむね 550~650 点を取得。

写真は本年度前期の TOEIC 講習



TOEFL：選択科目として 1 単位認定

- ・本年度から水曜日 7 限目に選択科目「Super English」90 分を開講（通年 20 回）
- ・1 年、2 年生を対象として成績により選抜し 10 名で実施。
- ・本年度は定員 10 名に対して、30 名以上の応募あり、選考テストにより選抜した。その結果、ベーシックとアドバンスの 2 クラス計 21 名で実施。
- ・国際文化科と総合科学科の 1 年生、2 年生が参加決定しました。前期中間考査後から授業を開始します。

今後 3 年間、G3 校の指定を受け、TOEIC スコア 730 点取得の生徒を育成することとしています。また、TOEFL では、79 点(満点は 120 点)以上を取得する生徒を目標としています。

住吉高校は目標を世界に広げ、これからの国際社会で活躍できる人材を輩出すべく、全教職員が一体となって英語教育をはじめ科学教育・国際教育・人権教育の面で大いに努力し、今後も立派な住高生を育ててまいります。